

会議録

会議の名称	西東京市合築複合化基本プラン策定懇談会 第2回懇談会
開催日時	平成27年8月18日（火曜日） 午後2時～4時
開催場所	田無庁舎502会議室
出席者	懇談会委員：伊村座長、沼本副座長、赤澤委員、有賀委員、伊藤委員、小井沼委員、鈴木委員、高松委員、服部委員、馬場委員、廣田委員、山村委員 事務局：田中文化振興課長、岡本社会教育課長、奈良図書館長、伊田公民館長、越沼文化振興課長補佐兼市民交流係長
議題	議題1 前回会議録の確認 議題2 中央図書館・田無公民館の現地視察 議題3 懇談会ワークショップ 議題4 その他
会議資料の名称	資料1 西東京市合致複合化基本プラン策定懇談会 第1回会議録
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○座長： （開会挨拶）</p> <p>・配布資料確認</p> <p>議題1 前回会議録の確認について</p> <p>○事務局： 3頁目の中段にある「各施設の供用部は合計約2,000平方メートル」との発言について「図書館・公民館の共用部は合計約830平方メートル」と修正をお願いいたします。</p> <p>議題2 中央図書館・田無公民館の現地視察</p> <p>○図書館長： 中央図書館では、地下蔵書庫が満杯になっている状況、開架書架で横積みになっている本がある状況、読書スペースが十分に確保できていない状況等について説明。</p> <p>○公民館長： 田無公民館では、現在の活用状況が紹介されたほか、各種設備類が老朽化している状況、防音設備が不十分な状況等の課題について説明。 共用部については、地下トイレが男女共用であること、配管類が全般的に傷んでおり時折悪臭がすること、機械室の中身は古いがゆえにかさばっているので更新した場合には省スペースが可能であること等について説明。</p> <p>議題3 懇談会ワークショップ</p>	

○座長：

それでは、議題3懇談会ワークショップに移ります。
事務局より説明をお願いします。

○支援事業者：

前回の懇談会で、個別の機能ごとに議論した方が早いという意見もあったところですが、まず新しい施設をつくるにあたり、何を大切にするかということについて、次第に共通認識を深めていくことで、議論の軸になるものが見えてくると思います。

個別の機能について、あれがあるといい、これもあるといいという議論ももちろん必要ですが、そればかりでは、どうしても散漫になってしまう可能性もあるので、先に新しい施設に求めるものや雰囲気、イメージ等について皆さんの意見を伺っていきたくと思っています。

○事務局：

この懇談会は、合築複合化に向けた議論を進めるものと位置づけており、新しい施設に必要な機能等を議論していくのと合わせて、コンセプトなりを考えていくにあたり、懇談会の中でのワークショップという形で皆さんから意見を伺っていこうと考えており、支援事業者に進行を依頼したものです。

○委員B：

前日も疑問に思ったことだが、今回の合築複合化というのは、既存3館が一緒になったものを考えているのでしょうか。

私たちとしては、公民館と図書館と市民会館とがそれぞれあって、それに何か新しいものを、と考えているのですが、現在の3施設の考えは全くなく、ひとつの物を作ろうとお考えなのですか。

○委員C：

コンセプトを追求していくよりも、それぞれ今の施設がどういった課題を持っていて、今後どのようにしていけるとよいと考えているかを積み上げていく中で、新しいものも見えてくるのではないかと思います。

漠然と「3館合築したもののイメージとして何を求めるか」というようなことを聞かれても、私の中からは何も出てこないです。中央図書館として、こういうものが欲しいということであれば、図書館協議会で積み上げてきたものがあり、私はそれを持ってここにきています。

懇談会の回数も限られている中では、コンセプトよりも具体的な話を優先してもらいたいですし、その方がわかりやすいです。

○委員D：

前回の懇談会では、合築の是非についての議論もありましたが、この懇談会が合築に向けた議論をする場だと考えたとき、いったん合築の是非は脇に置いておき、前向きに計画者の立場で考えたとき、どのようなことができるのか、どのような課題があるかを出していくことが重要だと思います。

ここには各施設の立場の委員がいらっしやるので、それぞれが抱える課題などを出し

ていただけると思います。一方で、私は市民でも利用者でもないのに、現在は施設を利用していない方、ここにはいらっしゃらない方の立場からコメントできればと思っています。

一人ひとりの話を聞いていくと時間もかかるので、こういう場でよく行われる手法ですが、皆が思っていることをそれぞれ書き出して、余りきれいに整理されなくても、そういったものを集めていく、今日はそういう会議になればと思っていましたが。

○委員C：

図書館協議会は、利用者の利害関係のある団体ではなく、図書館長の諮問機関で、市民の立場で「こういう図書館が西東京市には必要」ということを長く議論してきており、10年前にそのプランもできて市民へも公開していますので、そういうものがここでどのように反映されるのか心配です。

実際に3館が一緒になるというときに、全体の大きさはもう決まっているわけですが、中央図書館が現在よりも狭いスペースになるのでは何もできなくなってしまいます。そのことは言い続けていくしかありません。

○委員E：

それぞれの機能が何を求めているかを出し合うことも、もちろん必要だと思いますが、もう少し大きく考えると、このまちのランドデザインがどうなっているのか、その中でどういう位置づけなのか、誰がいつ使うのか、というようなこともなければならぬし、西東京市内に限定して考えるのではなく、近隣市区との連携といった広域での考えも必要なのではないかと思います。ただ、全部を考えることはできないでしょうから、まずは各施設からそれぞれが抱える思いから始めるのかなと思います。

○委員F：

今の委員のお話や支援事業者の話もわからなくはありませんが、限られた回数の中で基本プランをつくるという中で、漠とした状況のまま進んでいくことの怖さがあります。

近隣の複合施設を見に行ったりもしていますが、図書館だと思わなければ素敵な施設ではあっても、そこが中央図書館としてどうかと考えたときには別の見方になりますので、雰囲気だけ良い施設ができてはだめで、具体的な中身の話をしていくべきだと思います。

○委員G：

支援事業者には、何をいつ委託したのですか。

○事務局：

今日の懇談会ワークショップでは、コンセプトについて意見をいただくほかに、具体的に施設に求めるものというものがあれば、それを制限するものではありません。支援事業者との契約ですが、契約日が7月29日、内容としては、懇談会の支援として、懇談会の運営に関する事、市民説明会やパブリックコメントの実施の際の支援といったもの等が依頼している業務になります。

○委員F：

先ほど、ここで出た意見を支援事業者の方でまとめるというようなお話もありましたが、それには図面的なものも含まれるのでしょうか。それまでの議論はどういった形で反映されるのでしょうか。

○事務局：

第1回の懇談会でも申し上げましたが、ここでいただいたご意見をもとに検討をしていくことになります。

○委員F：

前回配布資料では、11月に市民説明会とパブリックコメントを行い、翌年1月に基本プランを策定し、2月末に冊子が完成するというスケジュールが示されていますが、最終的にどういうレベルのものを考えているのですか。

○座長：

必要な機能などを書き出していき、要素を盛り込んだイメージ図のようなものをまとめていくもので、具体的な設計図面を作っていくものではないと理解しています。

支援事業者についてですが、このような場で、議論を短時間で集約するのは難しいので、ファシリテーターという形で専門家をお願いするのはよくあることです。

最近、他の自治体でも色々と工夫して施設の複合化を進めてきています。この場も、これからの西東京市に対して、次の世代に負担を残すことなく、何を残していくのかということを考えられればと思っています。

そのためには私たちも様々な事例を、今はインターネットで容易に情報が手に入る時代ですから、事務局にお手伝いしてもらいながら、勉強していく必要があると思います。

○副座長：

今日、図書館と公民館を見て、色々と思ったことがあります。

例えば、図書館には、ほとんど本を読むスペースがない。これは図書館の機能としてどうなのだろうかということです。蔵書をたくさん持っていて活用するスペースがなければ仕方ないのではないのでしょうか。

そういった問題を、例えば統廃合される泉小学校に蔵書の機能を持たせることにより新しい施設の方では読書や学習のスペースを広くとるとか、そういうアイデアを出し合っていくと良いのではないかと思います。

○委員B：

新しい施設を考えるに当たって、今の公民館について皆さんに共通認識として知ってもらいたいことがあります。今日の視察ではハード面しかわからないわけで、実際にやっている事業を知っていただきたいのです。

公民館では、お部屋を貸すだけでなく、主催事業として、公民館運営審議会でも精査して事業を展開しており、学習のサポートや、地域づくり、人材発掘をしたり、地域活動をサポートしたりしています。

西東京市が抱えている問題というのはものすごくあり、何か楽しいこと、きれいな施

設をつかって人を呼び込んでということではなく、色々な事業を一部の人のためではなく、色々な方向性から展開することが必要です。公民館は、その点ではプラットフォームになっており、その意味で防災拠点でもあって、3.11のときにも一時避難の受入体制をとっていました。

今後も、防災や学習、子どもたちの育成は、機能として欠かせない部分ですので、私たち公民館運営審議会としては、そこを最大限に活かした形で、新しい市民との交流の拠点として考えていきたいと思っています。

今でも公民館には「まつり」というものがあり、各公民館で地域や学校と連携しながらつくりあげてきています。新たな形で融合もしていきながら、そういう守るべきものは守っていくということで、検討していただきたいと思います。

○座長：

今、公民館としてこんな機能があるとよいなというご意見をいただいたと思うので、これから皆さんにもそれぞれの立場から意見を伺えればと思います。

今のお話では、防災拠点、それから学習機能の場という話がありましたが、それは世代に関係なくでしょうか。

○委員B：

保育室利用者からお年寄りの方まで、色々な方が参加できる事業を展開しているので、どんな方でも学習できるということです。

○委員C：

学習の機能など、共通のものもきっとあるとは思いますが、私たちは中央図書館にはこんな機能が絶対に必要というものを積み上げてきているので、それをこの場の皆さんに知っていただきたいです。それが本当に3館合築の中で実現できるのか、私にはまだわかりません。こんな便利な場所から市民会館まで行かなければならないことについて、図書館協議会として同意したというわけでもありませんが、それでもこのような場が設けられて議論するのであれば、やはり今まで積み上げてきたことが無駄にならないようにしていただかないと、これまでしてきたことは何だったのかということになってしまいます。

それから、防災ということに関連して言うと、共用部の広さが大切だと思います。豊島区のホール「あうるすぽっと」との共用施設の図書館に何度か行ったことがありますが、廊下が狭く、エレベーターが少なく、待っている間にどんどん人が滞留してここで何かあったらととても怖かったです。

車椅子の方やベビーカーの方、足が不自由な方にとって、エレベーターがないと動けないような施設というのは、本当に大丈夫なのかなと思います。そういう面も含めて今度つくろうとしている施設は安心なものができるのかということも勉強したいと思います。

○座長：

具体的な寸法を定めることは、この懇談会で求められていることではないと思いますが、「廊下の幅を十分にとってほしい。」といった形で、要望を出すことはできると考えています。

図書館協議会側で出したいという資料もあるということであれば、次の会議で共有化することができると思います。

ただ、せっかくなので、こういう機能が必要だという意見を、次回への足掛かりのためにも議論ができると良いと思うのですが。

○委員F：

公民館も図書館も学習支援の機能ではありますが、何かを始めようとする人にとっての相談窓口はまだまだ確立していないように思いますので、学習相談の機能というものが挙げられると思います。

○座長：

これからスタートしようとする人への支援ということですね。

○委員G：

そうです。先ほど他の委員の発言にもありました「現在は施設を利用していない人」への支援に当たると思います。

○委員E：

中央図書館の機能は何かということ考えたときに、蔵書数が多いということが必要なかという点は考えた方が良かったと思います。ベストセラーが何冊もある必要はないですから。一番必要なのは、郷土資料室がしっかりとあって、西東京市のことはあそこに行けばわかるということなのではないでしょうか。単純に蔵書数とか平米数とかいうことではなく、機能から考えていく必要があると思います。

○委員D：

公民館では色々な形で地域に関わっていくといったお話もあり、大変重要だなと思いました。先ほど施設を見させていただいて、団体用のロッカーもあり、利用団体として公民館と関わる人が多いと思いますが、個人で関わるということが、まちづくりにおいては大事だと思います。

それから、これから考えていく際に気を付けなくてはならない点として、公民館と図書館との利用者圏の違いというものがあると思います。

また、中央図書館には何があるべきかという点については、かつて色々な自治体で閲覧スペースを減らして中高生の居場所がなくなったという流れがありましたが、今度つくる図書館では、開架スペースを減らしてでも、閲覧スペースをしっかりと設けていくというようなことをすると、西東京市らしい図書館のあり方になるのではないかな、ということを感じました。

○委員C：

中央図書館では、図書館業務への協力としてボランティアの方々が活躍しています。そういう方々の活動のためのスペースも今よりきちんと確保できればと思います。常に占有するわけではなくて、他の目的と共用することはできるかもしれませんが、一般の市民の方々が使うスペースとは分けて考える必要があると思います。

○副座長：

図書館や公民館について学習の場というお話がありましたが、今まで市民会館が果たしてきたように、学習成果を発表する場もあった方がよいのではないかと思います。

○委員F：

図書館にも公民館にも当てはまることですが、学校との連携ということも必要だと思います。

例えば、図書館であれば団体貸出しというものがありますけれども、27小中学校との間で学級文庫ですとか、子どもたちにふさわしい図書を常備するといった取組が考えられると思います。

また、公民館でも、近隣と連携できるような仕組み、これは施設の話ではないかもしれませんが、そういうものを考えたいと思います。

○委員G：

図書館については、単に本が並んでいるということではなくて、ゆったり閲覧できるスペースがあるとよいと思います。

公民館については、今も行っている事業が充実できる施設であってほしいと思います。

市民会館については、1市でホールを2つ持つことには無理があるように思いますし、近隣にコールド田無があることも考慮すべきなので、活動の場がゆったりと取ればよいのではないかなと思います。ただ、発表の場という意味で、ギャラリーのような機能があると良いと思います。

○委員H：

皆さんのお話を色々と伺っていると、それぞれ欲しいものがあり、それを合わせていくと、やはり3館合築では入らないのではないかとこのころに疑問があります。場合によっては2館合築で、残りの1館は別にするというのを考えてはいけなんでしょうか。

○座長：

これは私の私見ですが、まずは3館合築を目指して考えてみて、その先で譲り合わなければならないこと、さらに言うなら、維持・管理していくことも踏まえて、時間的な意味での、次の世代に対する譲り合いも含めて、色々と考えていかなければならないことも出てくると思います。しかし、基本プランをつくっていこうというこの段階では、いきなり諦めるのではなく、意見を出して、一度まとめてみるということはどうでしょうか。

○委員H：

しかし、既に新しくつくる施設の規模が決まっている中では、ここで出てきている色々な意見からすると入らないように思います。例えば、図書館の蔵書規模も他市よりも小さくて、閲覧スペースも広くするというのであれば、それこそ図書館だけしか入らないのではないかとも思うわけで、やはり3館合築というのは難しいのではないのでしょうか。

○座長：

これも私の意見として申し上げますが、まずは3館合築を目指してここに必要な機能を考えていき、それぞれどう譲り合っているかを考えた上で、それがどうしても入らなかったときには、無理にそれを全部詰め込む必要はないし、それが積極的に考えた上での結果ということであれば、そのときに将来に向けて何が一番良いのかを考えればよいのではないかなと思います。

仕切り直して、こういう機能があればよいなという意見も伺えませんか。

○委員H：

西東京市は文化活動が非常に活発なところですが、練習できる場が少なく困っている人が多いです。市民会館も、メインホールも大事ですが、練習の場を確保してほしいという意見が強いと思います。

○委員A：

私は、市民会館を利用する立場から選抜されて出てきており、様々な要望はありますが、それらを全部述べたのではとても1施設には収まらないと思いますので、図書館や公民館から攻められていかに防ぐかというのが私の役割だと思っています。

ひとつ考えなければならぬのは、そういう話も、または市全体から見てどうかというような大きな観点からの話にしても、この懇談会の中で議論をしていくべきであって、企業である支援事業者にまとめさせるコンセプトでよいかという問題があると思います。

この段階は、設計ではなく基本計画段階ですから、ここにいる人間の中でやるべきだと思います。

○委員D：

2館合築なのか3館合築なのかということは、市全体から見ていく必要があると思いました。例えばホール機能についていうと、こもれびホールがあればよくて、ほかには練習の場をたくさん設けていこうという考え方もあっても良いのかなと感じました。

○座長：

本日このホワイトボードに書いたメモは、図書館や公民館という建物別にくくったりせずに、あえて区別なく書きました。と言うのは、この中には共通して使えるもの、重ねられる機能があるからということ、そして、建物ごとにこちらはこう、そちらはどうかというような考え方を外して欲しいと思ったからです。

今日、この懇談会の中で情報を共有したいものがあるという発言もありました。それはそれで共有できればと思います。しかし、それはあくまで現状から出発した議論ですので、先進的な事例も勉強して、その上で議論ができればと思います。私も事務局にはいくつかの事例の情報を提供していますので、事務局から情報を流してもらえますから、勉強してきていただき、その上で議論できればと考えます。

議題4：その他

○事務局：

本日は忌憚のない意見をいただきありがとうございます。

先ほど、支援事業者についての議論もありましたが、あくまで皆さんからいただいた意見がベースであって、支援事業者の方では事務的な処理のみをお願いしているところですので、その点ご了承いただければと思います。

次回は、来週8月27日の木曜日、午後6時から、西東京市民会館3階の第5会議室で開催いたします。

なお、本日と同じように、会の冒頭に市民会館の施設見学を、未利用部分等を中心に行う予定ですので、こういうところが見たいなど要望がありましたら、事務局までお申し出ください。

○委員B：

福生市に公民館と市民会館の複合施設がありますので、どんなふうに融合しているか、参考になさっていただければと思います。

○委員E：

支援事業者の立ち位置はどうするのですか。このまま曖昧にしておくと、疑心暗鬼になって作業もしづらいでしょうから、はっきりさせておいた方がよいと思います。私としては今後もファシリテーターとしての役割を担ってもらえればよいなと思いますが。

○座長：

国や他の自治体でもこういう会議にコンサルが入ることはよくあります。

○委員C：

ただ、今日は漠然としたコンセプトの議論ではなく、皆さんの生の意見を伺えてよかったと思います。

○委員F：

以前にも別の会議でコンサルに入ってまとめてもらったことがあります。ここでは皆さんそれぞれの立場で話されるので、専門的な人に入ってもらうことも良いと思います。

○座長：

それでは、本日はこれで終わります。次回もよろしくお願ひします。

以上